

(書誌+要約+請求の範囲)

- (19)【発行国】日本国特許庁(JP)
 (12)【公報種別】特許公報(B2)
 (11)【特許番号】第2590009号
 (24)【登録日】平成8年(1996)12月5日
 (45)【発行日】平成9年(1997)3月12日
 (54)【発明の名称】炭化水素含有原料を低分子量液体製品に変換する流動法
 (51)【国際特許分類第6版】

C10G 11/18
 // B01J 29/04
 29/08
 29/40

【FI】

C10G 11/18 9279-4H
 B01J 29/04 M
 29/08 M
 29/40 M

【請求項の数】18

【全頁数】16

- (21)【出願番号】特願昭63-277595
 (22)【出願日】昭和63年(1988)11月4日
 (65)【公開番号】特開平1-198688
 (43)【公開日】平成1年(1989)8月10日
 (31)【優先権主張番号】116, 910
 (32)【優先日】1987年11月5日
 (33)【優先権主張国】米国(US)
 (73)【特許権者】
 【識別番号】999999999
 【氏名又は名称】デヴィッド・ビー・バーソリック
 【住所又は居所】アメリカ合衆国 ニュー・ジャージー、ワッチング、ウェタンパカ・レーン 75
 (72)【発明者】
 【氏名】デヴィッド・ビー・バーソリック
 【住所又は居所】アメリカ合衆国 ニュー・ジャージー、ワッチング、ウェタンパカ・レーン 75
 (74)【代理人】
 【弁理士】
 【氏名又は名称】佐々木 清隆 (外3名)
 【審査官】船岡 嘉彦

(57)【特許請求の範囲】

【請求項1】炭化水素油含有原料を低分子量液体製品に変換する流動法であって、(a)第1の装入原料を噴霧して予め選択された大きさの液体粒子流を作り、(b)該噴霧された第1の装入原料を実質的に水平に第1の反応ゾーン中に導入し、(c)ガス状分散媒体と混合した熱流動分解触媒粒子流を下方に向けて10fpsよりも大きい速度で該反応ゾーン中に導入してその中の前記噴霧された第1の装入原料と密に接触させ、そしてこの際温度、圧力および該噴霧された第1の装入原料との触媒時間を、該装入原料中の炭化水素を気化させてこの炭化水素を分解して低分子量生成物とするのに充分なものとし、(d)該炭化水素の大部分を気化させて得られた気化炭化水素中の前記触媒粒子の混合物を作り、そして前記反応ゾーン中で該気化炭化水素を分解して分解生成物気体および使用済み触媒とし、(e)こうして得られた分解生成物気体、前記媒体および大部分を占める使用済み触媒粒子からなる混合物を前記反応ゾーンを通して実